No.16

獅子島架橋はみんなの願い

インタビュー

前湯ノ口自治公民館長
梅川　辛さん (62)

◇生活での苦労や橋への想いは

食料品は島外から移動販売が来るのでそれほど不便は感じません。しかし、病院に行くのは苦労しています。皆さん言われますが、夏の台風時期などに万が一のことがあった場合、対処できません。

公民館長を4年間務めましたが、毎月、役場に税金を納めに行くのは大変でした。長島の人は合間に役場へ行けますが、獅子島からは自分の船かフェリーを使って半日かかります。

世界中が大変な時期で、獅子島より苦しいところもあると思いますが、橋が架かると安心して暮らせます。盗難などの犯罪への不安を差し引いても、橋が架かることを望んでいます。

いつまでもお元気で 100歳のお祝い

3月に100歳の誕生日を迎えられた2人を川添町長が訪れ、お祝いを贈りました。

3日には、川渕小菊さん（御所ノ浦出身）が誕生日を迎えられ、特別養護老人ホーム桃源郷でお祝いのセレモニーが開かれました。家族や入所者が見守る中、川添町長からお祝い状と記念品が手渡され、同施設の職員が「元気ですか」と問いかけると、川渕さんは「元気じゃ」とはっきりこたえていました。

10日に100歳になられた杉山オトヨさん（伊唐）宅は、町長が公務で不在となるため6日に訪問。たくさんの家族に祝福された杉山さんは「子どもたちが親孝行してくれるのでありがたい」と感謝していました。

4月1日現在で、本町の100歳以上のかたは3人となりました。

→家族や入所者、施設職員らに祝福された川渕さん

↑家族に囲まれ 100 歳を迎えられた杉山さん

■編集後記

▽2月にテレビ東京系の取材で獅子島に折り紙師がやってきました。この折り紙師の作品には、一体100万円の値がつけられたものもあります。取材では天才折り紙師が子どもたちのために巨大な動物をつくりました。日本マンダリンセンターに展示してありますので、ぜひ一度ご覧ください。（濱口）